

第3回 事業報告書

(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)

I 事業活動

今年度は、公益目的事業として、講演会や交流会などを通じて地域活性化と産業振興を目的とする「産業振興事業」、および、重要文化財建物を通して建築文化や歴史を学ぶ場や重要文化財建物を活用した文化活動の場を提供することによる文化振興を目的とする「文化財活用事業」を行いました。

なかでも、春の特別公開にあわせ「孫文を支えた人々－安川敬一郎、梅屋庄吉」展の開催や、近代化産業遺産のひとつとして北九州の産業観光ツアーの積極的な受入れを行い、歴史や建物の意義等を知っていただくことに努めました。

これらの事業を財政面で支えるとともに、あわせて、その収益を公益目的事業の推進拠点となる重要文化財建物の維持に充てるための「食堂運営事業」も積極的に行いました。

1 産業振興事業

(1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いて講演会を開催し、延べ750名程の参加がありました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会の共催ならびに後援を行い、参加者の幅広い交流の機会づくりを行いました。

平成26年の当倶楽部主催の講演会は、次のとおりです。

第1回 平成26年1月24日(金)

「2014年を展望する－「黄金の3年間」－は続くか」

同志社大学学長 村田 晃嗣氏

第2回 平成26年2月17日(月)

「北部九州の経済情勢について」

財務省福岡財務支局長 高木 隆氏

第3回 平成26年2月21日(金)

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」について

(一財)産業遺産国民会議理事 加藤 康子氏

第4回 平成26年3月7日(金)

「世界に広がる北九州の明日を考える講演会」連携セミナー

(独)科学技術振興機構研究開発戦略センター長 吉川 弘之氏他

第5回 平成26年3月12日(水)

「侘び茶の道」

表千家家元教授 岡崎 英雄氏

第6回 平成26年4月16日(水)

「グリーン成長のトップランナー・北九州市～次の半世紀に向けて～」

北九州市長 北橋 健治氏

第7回 平成26年4月18日(金)

「孫文と梅屋庄吉～Transnational な生き方をした九州人たち」

日比谷松本楼代表取締役副社長 小坂 文乃氏

第8回 平成26年5月15日(木)

「身体の組織・機能の再生を助けるシンプルな材料の創製を目指して」

九州工業大学若手研究者フロンティア研究アカデミー准教授 城崎 由紀氏

第9回 平成26年6月26日(木)

「大いなるロシアーロシアと北九州」

在日本ロシア連邦大使館総領事 オレグ N. リャボフ氏

第10回 平成26年7月24日(木)

「地域多様性が生み出す21世紀日本の活力

ー都市を測る、都市を活かす：九州北部を中心にー」

野村證券(株)金融公共公益法人部主任研究員 和田 理都子氏

第11回 平成26年8月4日(月)

「読売巨人軍の舞台裏」

読売新聞西部本社運動部長 太田 朋男氏

第12回 平成26年9月4日(木)

「北九州は、離陸の直前にある」

(公財)国際東アジア研究センター所長 八田 達夫氏

第13回 平成26年9月30日(火)

「我が国の防衛」

自衛隊福岡地方協力本部長 秋葉 瑞穂氏

第14回 平成26年10月17日(金)

「北九州地域の発展について」

福岡県知事 小川 洋氏

第15回 平成26年11月6日(木)

「地域経済の振興とアベノミクス～北九州を元気に日本を元気に～」

九州経済産業局長 岸本 吉生氏

第16回 平成26年12月4日(木)

「内外の金融経済情勢と今後の展望」

日本銀行北九州支店長 宮田 慶一氏

これらに加えて、日比谷松本樓の小坂文乃氏と北九州市立自然史・歴史博物館のご協力により、安川敬一郎と梅屋庄吉にかかわる孫文ゆかりの品々を展示した特別展を開催しました。

特別展 「孫文を支えた人々ー安川敬一郎、梅屋庄吉」

4月16日(水)～4月19日(土)

その他共催・後援事業は次のとおりです。

平成26年1月23日(木)

「九州地域の成長戦略について」

九州経済産業局長 廣實 郁郎氏

平成26年2月15日(土)

「シェールガスやメタンハイドレードは我が国エネルギーの救世主か」

エネルギーコンサルタント 小野 章昌氏

平成26年3月6日(木)

「アグリプレナーが拓く農業新時代

～未来に繋がる農業経営と農業ビジネスの新しい地平～」

(公財)九州経済調査協会 調査研究部次長 岡野 秀之氏

平成26年3月7日(金)

「世界に広がる北九州の明日を考える講演会

～今後の我が国の科学技術イノベーションと工業都市ー北九州への期待～」

(独)科学技術振興機構研究開発戦略センター長 吉川 弘之氏

平成26年3月24日(月)

「量的・質的金融緩和とわが国の金融経済情勢」

日本銀行副総裁 岩田 規久男氏

平成26年6月17日(火)

「日本経済：アベノミクスの静かな前進」

モルガン・スタンレーMUFG証券(株)マネージング・ディレクター/チーフ・エコノミスト ロバート・アラン・フェルトマン氏

平成26年9月10日(水)

「九州と中国を結ぶ絆」

日比谷松本楼代表取締役副社長 小坂 文乃氏

平成26年10月8日(水)

「ICSEAD 創立25周年記念シンポジウム 空港から変える北九州の未来」

神戸大学大学院 経営学研究科教授 村上 英樹氏他

(2) 交流会

① シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねたシンポジウムの会を4月・10月に計2回開催しました。それぞれのテーマに沿った食材を使った料理を楽しむとともに、倶楽部の近況報告を行いました。

② 特別講演会ならびに交流会

毎年の恒例行事として次のとおり開催し、九州経済産業局長・福岡県知事・北九州市長ほか多数の参加があり、情報交換・懇親の場として活用いただきました。

1月6日 新年賀詞交歓会

4月16日 北九州市長特別講演会ならびに春季懇親会

10月17日 福岡県知事特別講演会ならびに秋季懇親会

③ 行政・経済団体等との交流

行政(九州経済産業局・福岡財務支局・北九州市各部局・教育委員会など)、友好諸団体(北九州商工会議所・(公財)北九州国際技術協力協会・(公財)北九州活性化協議会・(公社)北九州貿易協会・(公財)アジア成長研究所・(公財)北九州国際交流協会・福岡経済同友会・(一財)福岡ユネスコ協会・福岡アメリカンセンターなど)と協力して、各種のシンポジウム・講演会・懇談会・文化活動など、地域の発展と国際友好親善に努めました。

2 文化財活用事業

明治45年(1912)年に洋館が竣工し、昭和47年(1972)年に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」は、その建物の維持管理の観点から、公開は特別公開日のみとしております。今年度の特別公開日は、4月19日および10月19日の2日間開催し、合わせて2,000名近くの入場者がありました。

なお、建築専門家及び建築に関心のある団体や学校からの社会見学は事前の予約を受けて対応しています。

また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に建物の意義等を知っていただ

くための館内案内を行っており、単なる行事参加とは違って、重要文化財に直接触れることで、文化財の意義・価値を認識するとともに文化財保護意識を高める機会となっています。

このほか、行政や友好諸団体・文化団体との交流では、音楽・茶道・華道・書画等や音楽会・作品発表会等に会場の提供を行い、文化向上に努めました。特に、特別公開に合わせたコンサートや各種文化団体の作品発表会は、出展者ならびに参加者に大好評を博しました。

3 食堂運営事業

一般会食部門においては、ご予約件数の減少により苦戦はいたしました。一昨年からの強化を図ってきました婚礼部門の好調により、収入については、概ね計画どおりに推移いたしました。支出については、取引先の見直しや仕入交渉により食材費や婚礼関連での支出を抑えることができ、計画以上の成果を残せました。その結果、当事業の収入は261,000千円（前年比3,394千円増）、支出は248,354千円（前年比7,278千円減）となり、経常利益で12,645千円（前年比10,673千円増）の黒字を計上することができました。

なお、これらに産業振興事業・文化財活用事業および法人会計の収支を加えた全体の収支は、収入298,426千円（前年比2,593千円増）、支出291,124千円（前年比4,245千円減）となり、差引き7,301千円（前年比6,838千円増）の経常利益となりました。

II 会務の概況

1 定時社員総会

平成26年2月26日12時00分から当倶楽部にて第2回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第2期(平成25年1月1日から12月31日まで)事業報告の件

決議事項

第1号議案 第2期(平成25年1月1日から12月31日まで)貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 理事2名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案 監事2名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

2 理事会・委員会

平成 26 年度中に開催された理事会・委員会は次のとおりです。

理 事 会	2 回	監 事 会	1 回		
役員懇談会	4 回				
経済調査委員会	2 回	財務委員会	1 回	総務委員会	4 回
交流委員会	1 回				

3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	183 社 (246 人)	7 社 (8 人)	5 社 (11 人)	185 社 (243 人)	+2 社 (-3 人)
個人会員	9 人	1 人	3 人	7 人	-2 人
客 員	8 人	0 人	0 人	8 人	0 人

*指名会員の異動には、増員ならびに個人会員への異動を含みます。

4 役員の状況(平成 27 年 2 月 26 日現在)

理事長(代表理事)	利 島 康 司
副理事長	谷 本 進 治
	同 伊 倉 信 彦
	同 張 本 邦 雄
常任理事	久 富 雅 史
理事	高 橋 正 幸
	同 影 山 英 雄
	同 岡 野 正 敏
	同 古 野 英 樹
	同 小 倉 良 夫
	同 平 島 孝 三 郎
	同 早 川 陽 一
	同 自 見 榮 祐
	同 二 橋 岩 雄

監 事

同	前 川 義 広
同	柴 崎 康 男
同	芳 賀 晟 壽
同	小 林 英 信
同	北 村 徹
同	山 本 雄 造
	山 崎 博 司
同	吉 戒 孝
同	三 島 正 一
同	柏 木 修